

問 誰もが利用しやすい公共施設に

答 計画的に実施していく



新政とうかい 新垣 麻依子 議員



トイレも利用しやすく

議員 村内の公共施設は、一定の基準で整備されている状況であると理解している。しかし、最近では電動車いすなどを使用している方も少なくなく、基準を満たしている多目的トイレなどでも利用しにくいという声を多く聞く。公共施設は様々な方が集まる場所であり、様々な方が気兼ねなく訪れることが出来る施設にするべきである。公共施設のバリアフリーとユニバーサルデザインについての考え、また、今後の予定について伺う。

建設農政部長 平成29年策定を予定している公共建築物長寿命化計画の中で、ユニバーサルデザインの推進を位置づけ、改修を計画的に実施していく考え。施設整備を行う際は、条例及び法律等を遵守すると共に、障がいのある方や高齢の方に配慮したバリアフリーの考え方を加えたユニバーサルデザインの思想を取り入れ、すべての人が安全かつ快適に利用できる環境整備に取り組みたい。

問 交流館の運営体制と財源は

答 館長・学芸員を配置へ



無会派 清宮 寿子 議員

議員 館長・学芸員の選任等、運営主体の検討の進捗状況は。
教育次長 専門性が多岐に渡るので基本方針を基に見極めていく。村民ボランティアについては、新事業「とうかいまるごと博物館事業」等を実施し、サポートの発掘や育成を進めていく。
議員 話題性のある運営を継続するために計画時から館長・学芸員を選任するべき。
教育次長 多様な専門家の方々と関わる中で人選を進めていく。
議員 充実した展示内容を企画するために交流館の法的位置付けは。
教育次長 博物館法に基づく登録博物館を目指す。
議員 税込減が予測されるなか、財政的裏付けは。



村内から発掘された埋蔵品

教育次長 12月議会で建設基金の設置が議決された。
議員 年間維持管理費の見込額は。
教育次長 来年度実施設計で具体的な試算をしていく。
議員 今後、歳入不足予測を見据え、見込み額を提示し、建設の理念・総工費と財源裏付・運営体制・維持管理費等総合的に村民に説明し理解を得る必要がある。